

経営比較分析表（令和4年度決算）

岡山県 笠岡市

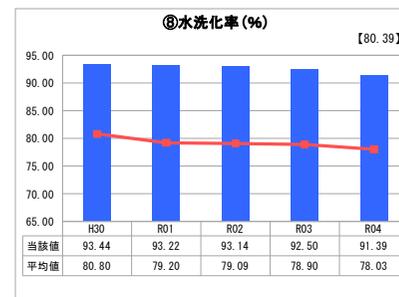
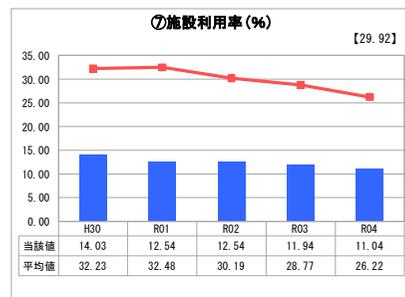
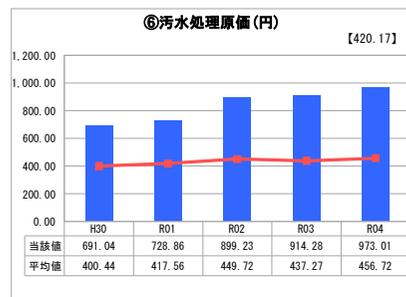
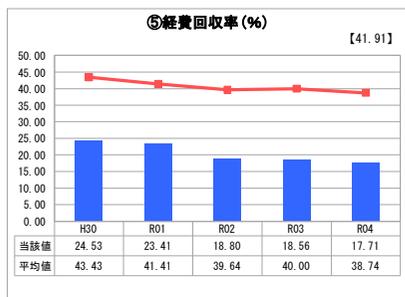
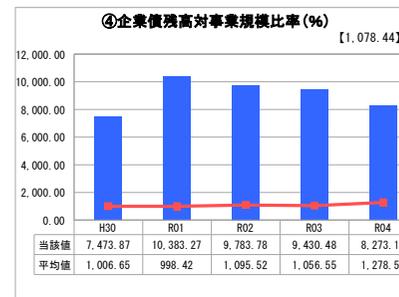
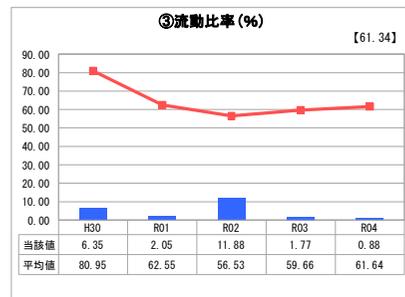
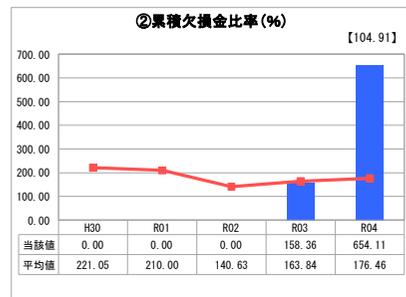
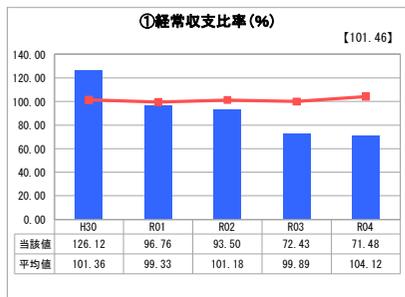
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	60.06	0.33	90.25	2,596

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,534	136.07	334.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
151	0.11	1,372.73

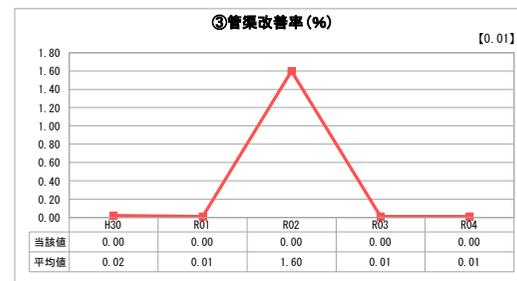
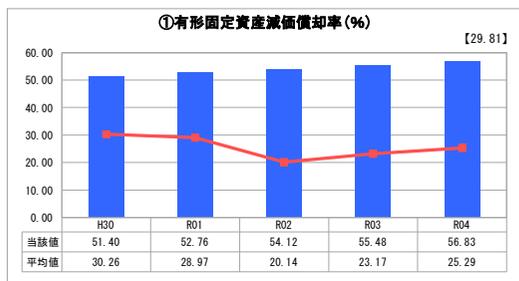
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%未満で単年度の収支は赤字である。
 ②累積欠損金比率は、類似団体平均を大きく上回り、営業活動により生じた損失を補填できず、複数年度に渡って欠損金が累積している。人口の減少が進行すれば、営業収益も減少が見込まれるため、欠損金を抑制する方法を検討しなければならない。
 ③流動比率は、100%を下回り、短期的な債務に対する支払能力は低い。事業運営の為に、一般会計からの繰入金で不足分を補っている。
 ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を大きく上回っている。営業収益は減少傾向にあるが、今後新規に企業債の借入を行う可能性は低いため、緩やかな減少傾向で推移すると見込まれる。
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価は、人口減少により、有収水量と下水道使用料収益の増加を見込むことが困難であるため、汚水処理費の削減に努める。
 ⑦施設利用率は、人口減少等が要因で減少している。
 ⑧水洗化率は、類似団体平均を上回っている。高齢化等の影響で下水道接続世帯数は減少しているが、区域内の接続割合が高いため、当該数値も高くなっている。

2. 老朽化の状況について

管渠施設等については大きな老朽化は確認されていないが、供用開始から15年以上経過しているため、機械及び電気設備等の老朽化対策を含めた総合的な機能保全について検討していく必要がある。

全体総括

本事業については、専ら漁港及び周辺海域の水質保全に寄与するためのものであり、公共性の高い事業である。そのため、一概に経営状況の善し悪しのみで、事業の重要性や継続性は判断できない面がある。したがって、施設の機能保全対策を行いつつ、適正な維持管理に努め、将来的な事業の規模や内容を検討していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。